



特定非営利活動法人
せんだい杜の子ども劇場

〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-40-7アルティマ101
TEL/FAX 022-375-3548 HP <https://senmori.org/>

2025年 夏号

2025年8月発行



教育=共育を実現する要としての榴岡児童館

宮城教育大学教職大学院教授 吉村 敏之 氏

子どもの確かな成長をたすける教育とは、子どもとかかわる人々も共に成長できることであると、しばしば言われます。しかし、実現は困難です。自助努力が強調され、社会の分断が進み、「今だけ、金だけ、自分だけ」の風潮がはびこる近年、夢物語とされかねません。殺伐とした世の中で、榴岡小学校を支える「学校支援地域本部」が、地域、家庭の教育力を引き出し、夢をかなえようと歩む子どもたちを育てている事実は、希望の光をもたらします。

地域・家庭・学校が協働して子どもを育てながら大人も成長できる「榴岡コミュニティ」の特質を解明しようと、宮城教育大学の研究チームが、様々な活動を観察したり、イベントに参加もしています。「社会的動物」とされる人間の生存基盤である地域社会=コミュニティの衰弱、崩壊は、人類滅亡の危機をもたらします。荒廃する状況にあって、学校が「社会に開かれた」コミュニティ・スクールとして、地域社会の再生に寄与する必要があります。その指針として、学校が地域とつながる「榴岡コミュニティ」の事実に学ぶことは多いです。

とりわけ、コミュニティづくりに不可欠なコミュニケーション三人と人とのつながりに、注目しています。なかでも、コミュニティの活動の扇の要の役割を果たす、榴岡児童館の存在が大きいです。本学1年生に対し、児童館の取り組みの一端を、館長の斎藤純子（じゅんじゅん）さんが紹介してくださる機会がありました。学生たちは、コミュニティの基となる、児童館の「顔がみえる関係」づくりの重要性を認識しました。「未来から預かった大切な子どもたちを笑顔で未来に返したい」という、学校支援地域本部の理念に感動した学生は、さらに、児童館の「つなぐ」力の大きさに気づいたのです。私自身も、思い知らされました。

○子どもと子どもをつなぐ：「遊び」によって、お互いの人間としてのよさを認め合える「仲間」集団ができる。根底には、子ども一人ひとりが自分の存在を肯定し、「安心できる居場所」となるよう、スタッフの「相手に寄り添って傾聴・尊重する」という姿勢がある。

○子どもと様々な大人をつなぐ：様々な活動によって、様々な大人と、異世代交流をする。

○子どもと地域をつなぐ：様々な人々とのつながりによって、つながりにあふれた地域の力を実感し、「私には帰れるところがあるんだ。こんなうれしいことはない」と安心感を得る。

○子どもと学校をつなぐ：学校での集団生活の基盤となる、子ども同士のつながりが形成される。様々な人々とかかわる体験活動によって、学校での学習が「生きる力」となる。

○親と親をつなぐ：子育てに悩む親同士のつながりができ、「共育」への道が拓ける。

子どもの成長にとって児童館の役割の大きさを実感し、ボランティアをしてみたいという学生もいました。「手伝い」とと思っていたボランティアを「様々な人と出会いきっかけ」ととらえ直した学生もいました。様々な人々が出会い、学び合い、育ち合う「榴岡コミュニティ」自体が成長し続ける秘密をさぐる研究を深めたいです。毎月、児童館で開かれる「榴岡コミュニティ」の会合「ほっとぽっと俱楽部」への参加が、私自身の「共育」の糧です。

巻頭文「教育=共育を実現する要としての榴岡児童館」

吉村 敏之……………1

ライブ＆トーク！3rd 報告……………2

杜の子まつりin仙台 開催案内……………3

ママパパライン仙台……………4

ママパパライン仙台・ライブ＆トーク！1st開催案内……………5

児童館★NEWS 榴岡児童館……………6

児童館★NEWS 新田児童館……………7

事務局より・ピックアップ……………8



「ライヴ&トーク! 3rd」を 開催しました

2024/10/26 の 1st、2025/1/11 の 2ndに続き、5月17日に「ライヴ&トーク！3rd ~言葉と音楽を親子で楽しむ~」を、のびすく泉中央ホールで開催し123名の親子にご参加いただきました。

今回は音楽と言葉に触れる機会づくりとして、読み聞かせと生演奏を行うイベントです。絵本「はーい おはよう」、「短編 おおかみ（児童書いやいやえん より）」の物語に合わせて花のワルツ、運命などの有名クラシックを中心に曲が奏でられ、ジブリのさんぽが流れると子どもたちが歌いだす場面もあり、定期的にこういった乳幼児参加の可能な

日時：2025年5月17日（土）14:00～15:15

会場：のびすく泉中央ホール

参加人数：123名（参加無料）

イベントを開催してほしいとの声も複数いただきました。

【出演】上島奈津子さん（読み聞かせ）、
浅野裕里香さん（ヴァイオリン）、
千葉展子さん（フルート・オカリナ他）、
ハ卷梓さん（スピネット）
田原さえさん（モデレーター）

【主催】一般社団法人
ミュージックプロデュースMHKS

【共催】NPO法人せんだい杜の子ども劇場



- ・スピネットなど珍しい楽器の音色を聴けて貴重な体験となりました。
- ・音楽も楽しく、楽器もいろいろめずらしい楽器で、朗読と一緒に映像も楽しく大人も充分に楽しめました。すばらしい会でした。今後も子供達のために活躍して下さい。
- ・子ども以上に大人が楽しんでいました。コンサート自体がほぼ初めてでしたので、まさか子どもが生まれてから参加できるとは思いませんでした。開催していただきありがとうございました！！
- ・場面毎に合わせた選曲が大人も楽しめて素晴らしいかったです。
- ・(演奏曲の)ピタゴラスイッチすき。

- ・最後の質問コーナー長い。マイクノイズうるさい。
- ・ホール利用者の札は必要でしょうか。こどもには危ないと思いました。3月に別の人のコンサートに来た時はなかったのでびっくりしました。



イベント予告



社の子まつりin仙台を開催します

「遊びの広場」 11:00～14:30

9月13日（土）に「社の子まつりin仙台」を開催いたします。
11時から「遊びの広場」！さまざまブースを用意するので、何があるのかお楽しみ。詳細は法人HPで今後お知らせ予定です。
じいじばあばもご一緒に♪ぜひファミリーで遊びに来てください。
※かえっこバザールはお休みです。



「ファミリー芸術鑑賞」 15:00～16:00

劇団 **たんぽぽ**

ズッコケ3人組のハラハラどきどき大冒険ストーリー

今年の芸術鑑賞作品は「あやうし！ズッコケ探検隊（原作：那須正幹ボプラ社刊）」です。3人が繰り広げる冒険の行く末は？ ゼひ親子でお楽しみください。



まったく性格のちがう3人。いつも一緒に遊んでいる。
いつも一緒にいるからケンカも多い。だけど、それも3人でいるから。

ワクワクをさがしに、ぼくらは元



はい
ママパパライン仙台です

「2024年度のまとめ」

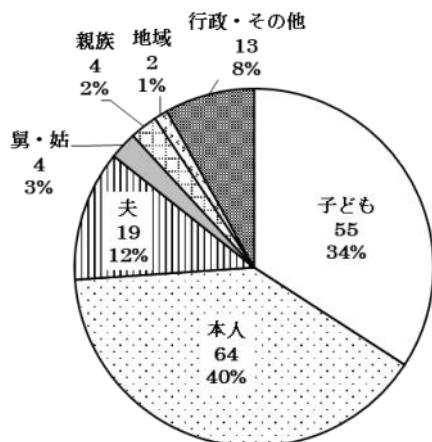
2024年度（R6年4月～R.7年3月）
「ママパパライン仙台」の事業報告をいたします。

1. ママパパライン仙台常設事業

- ◆ママパパライン仙台開設：56日間
(毎週金曜日及び全国キャンペーン2/3～8)
- ◆電話を受けた件数：115件。
(母親103件、無言・一言12件)
- ◆総通話時間：3,529分。
(平均約34分、無言一言除く)
- ◆受け手・支え手定期研修：11回。
参加者：延べ112名。
- ◆広報活動
カード179,000枚を作成。宮城県内小学校、幼稚園、児童館、市民センター、子育て支援機関及び民間諸施設・団体に配布。
- ◆電話をかけてきた方
 - ・不安な気持ちを聞いてもらって、少し心が楽になりました。
 - ・当たり前だけど自分の子どもが一番好き。ありがとうございました。
 - ・内容は、「本人」の悩みが40%、次に「子ども」34%、「夫」12%、「舅・姑・親族」5%、「地域・行政・その他」9%でした。「本人」の悩みでは、子育てと仕事の両立が大変/理想と現実のギャップ/実家との不仲/シングルでの子育て・経済的不安/離婚問題など。

かけてきた人のなやみの内訳

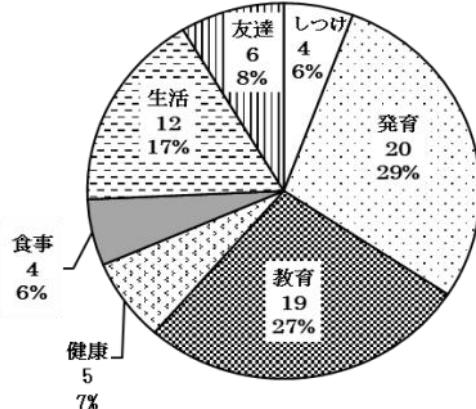
(総数：161件 複数回答有)



- ・「子ども」の悩みでは、乳幼児が発育・発達/小学生以上では発達・教育・生活に関する内容が寄せられました
- ・変化が大きい現在の社会状況の中で、子育ての辛さや苦しさ、イライラ、怒りを抱えている母親の心の訴えは常にあり、「私の気持ちを分かってほしい。誰にも言えないグチを聴いてほしい。私の頑張りを認めてほしい。」という思いを感じました。本ラインでのやり取りで、グチをこぼしネガティブな思いを吐き出し、否定されずに聴いてもらうことで、少し気持ちが楽になり子育てに向き合う力を回復していることが覗えました。

子どもについての悩みの内訳

(総数：70件 複数回答有)



2. 電話受け手ボランティア募集＆養成講座

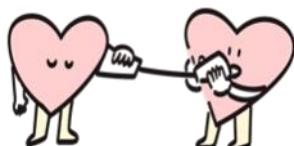
- ◆11月24日・12月1日・8日に6講座を実施。
案内チラシ：5,000枚作成、配布。
- 参加者：延べ105名

【参加者の声】

- ◆受け手・スタッフ定期研修参加者
 - ・定期的に振り返ったり、学び直したりが大切だと思う。研修で自分のモヤモヤを共有してもらい、他の受け手の方の意見を聞き、スーパーバイザーにSVしてもらいながら、受け手の経験を積んでいきたい。
 - ・悩みを抱えている方への支援として、傾聴がいかに大切なことを知り、かけ手に寄り添うための更なる傾聴力を磨いていきたいと思う。

◆電話受け手ボランティア養成講座参加者

- 自己理解と研鑽。自分を見つめる、自分に気づく、この“自分”という人間に対して向き合うことは結構しんどい作業ですが、とても大切な研鑽となりました。
- 困っていることを一般化しない。困っていることにはどう対応してきたのか、丁寧に聞く。虐待による脳へのダメージ。誰が何に困っているのかを明確化し、優先順位をつけることが大切だということが分かりました。
- 受け入れ難い話ほど、どのような意図で言ったのかを考え、普段なら考えもしないことまで考えながら理解するよう努める。拒絶は一番学びがない、とは心しているつもりでも難しいです。



3 まとめ

- 子育ての根底に不安や戸惑いを抱えている親たちに向けて「ママパパライン仙台」を周知するカードを作成し、行政や諸団体の協力を得て配布と配置することができました。また宮城県PTA連合会・仙台市PTA協議会・宮城県私立幼稚園連合会の後援を頂き、宮城県内の小学校や幼稚園を通して保護者にカードを届けられることができました。
- 電話受け手・支え手は定期的な研修や講座の実施で自己研鑽を続け、より深く「傾聴」する姿勢を確認し、活動の質の向上に努めました。

ライヴ&トーク!

2025 1st

参加無料
30組限定/要・事前予約

8/23 土 14:00開演 (13:30開場)

会場 N-oval音楽サロン
仙台市青葉区錦町1-5-1/N-ovalビル1階

お問い合わせ : MHKS Tel 070-6625-9244 / Mail info@mhks.jp

主催: (一社)ミュージックプロデュースMHKS 協力: 特定非営利活動法人せんだいの子ども劇場 後援: 河北新報社

**協カイベント
開催のご案内**

一般社団法人ミュージックプロデュースMHKSが主催するシリーズ、「ライヴ&トーク！」。2025年1stのお知らせです。

せん杜も協力団体として関わらせていただきます。今回はN-oval音楽サロンで日々子育てを頑張っている大人に向けた選曲をお届けします。親子で参加も大歓迎！街中にある音楽サロンでクラシックを楽しみませんか？





5月の榴岡小運動会を経て、小学生たちが心身ともに一回り大きくなったことを実感します。日々の児童クラブではその成長ぶりがドッジボール等の遊びや子ども集会から感じられます。1年生が上学年生を見てチームでプレーする姿、子ども集会で他児の意見を聞くことができるようになってきた姿、校庭で遊んだ後の振り返りを欠かさず行ってきた姿（めっきりケガが少なくなりました！）などです。そあの庭ワークショップでの体験がそのまま児童館での遊びにも活かされていることも感じます。「子どもスタッフ会」は昨年度に引き続き年間活動となりました。加えて、中学生まで枠を広げたところ、2つのスタッフ会が生まれました！スタッフ会改め小学生向けは「tutujiプロジェクト」、中学生は「TUTUJIPlus」というネーミングとなりました。もちろん、参画したメンバーたちが考えたものです。どちらも何をやるかを協議中、とても楽しみです。乳幼児を子育て中のママやパパに自己肯定感を高めてもらうために毎年恒例の「ママココフェスティバル」を7月11日に開催、乳幼児親子38組が参加しました。「縁が輪ねっと」に参加している団体にも協力してもらい体験ブースを巡り、最後はボンクラーズショーを満喫してもらいました。

高校生や専門学校生によるワークショップの申し出が相次いでいます。小学生にとって「ちょっと先輩」の存在は大切です。プログラミングや小動物ふれあいワークショップ、これからも介護施設との交流や専門学校への訪問等もあります様々な出会いが子どもたちの知的好奇心を燃るに違いありません。

小学生の自由来館が大変増えました！夏休み中は小学生の利用が主になりますが、ひしめき合いながら子ども同士が成長していく居場所としてスタッフも縁の下の力持ちとなって頑張りたいと思います。



せん杜が指定管理をしている榴岡児童館と新田児童館では、年に数回「地域公開セミナー」を実施しています。これは開館当初から始めた行事で、「子どもにとっての行き過ぎたメディア接触」や「子育て講座」等々、児童だけでなく乳幼児親子や地域の方も参加し好評を得ていました。現在は小学校・父母教師会・学校支援地域本部・児童館の協働で開催するまでとなりました。毎年行ってきた瀧靖之東北大学教授とピアニスト田原さえ氏による「脳科学と音楽」に加え、近年ではモーグル日本代表の遠藤尚氏や東京オリンピック体操選手の亀山耕平氏を講師に迎え、両小学校共に学年全体で参加するなど地域公開セミナーの輪が広がっています。

7月には講師として、3年生の国語教科書「コマをたのしもう」の執筆者である安藤正樹氏（尚絅学院大学教授）をお迎えしました。会場内は安藤先生のトークやコマの技に引き込まれ、みんな大喜びで大盛況でした。



【地域公開セミナー 新田】

2025年7月2日（水）IN 新田小学校体育館

【地域公開セミナー 榴岡】

2025年7月9日（水）IN 榴岡小学校体育館



新田児童館

新学期が始まり4か月が過ぎ、夏休みが目の前の7月になりました。児童クラブでは1年生がすっかり児童館になれ先日の保護者会でも「楽しいと言っています」の声をたくさん聽きました。本館と各サテライトの運営も子どもの配置に配慮して、何とか順調にここまで来たと感じています。とは言っても支援の必要な子ども達は多く、職員のスキルアップと新田小学校との共有と協力は今年度も不可欠となっています。職員体制は6月から常勤職員が1人増え、7月から非常勤から常勤職員に1人加わり夏休みに向け強い力となっています。乳幼児においては赤ちゃんが中心になりながらも、5月のちびっこ運動会を楽しみ、6・7月のひろばでは制作やベビーマッサージを企画、産後ダンス、ほっこりサロンでも交流が広がっています。特にサロンではカフェコーナーも再開し、手作りお菓子（がんづき、フルーツケーキ、カレーパン）に好評を頂き、切絵教室も始まり異世代交流が深まっています。昨年度に比べどのイベントも参加者が増え手応えを感じているところです。『夏休み』とにかく無事に楽しく過ごせるように職員一致団結して頑張ります！

【そあの庭ワークショップとは？】

SOAT(Supporting Organization For Artists of Tohoku
NPO法人 東北の造形作家を支援する会

榴岡児童館と新田児童館は東日本大震災以降から「そあの庭ワークショップ」を年間を通して行っています。児童館が掲げる理念（子どもの育成、地域貢献等）の多くがSOATの活動理念と一致する部分が多く、これまで継続してきました。

子ども同士が自然に触れ、普段できない体験を通して子ども同士の達成感や自己肯定感を高めることに繋げるため、坪沼神社とその地域の協力による森探検、鋸や金槌も使用する遊び場つくり、ホタル観察などの自然体験ワークショップと児童館での砂場ワークショップやアートワークショップを実施しています。坪沼でのファシリテート役を担っている斎正弘氏は、宮城県美術館教育普及部長として館内ワークショップを掛け人気を博し、子どもの好奇心や発見の機会を引き出す達人です。児童館でのワークショップでは、墨絵や版画などのアーティストが子どもたちの創造性を引き出しています。

毎年継続してきた「そあと」での発見と学び取った気づきは、日常の児童館でのあそびに変化をもたらしています。参加希望者が増え、何より保護者の皆さんの理解が広がり、本物に触れる意義を共有できるまでとなりました。



サポート＆ご協力ありがとうございました！

(敬称略・順不同)

- 正会員 ■(更新) 特定非営利活動法人アフタースクールぱるけ
- 支援会員 ■(更新) 山田 富美子、福原 早智子

お詫び

杜の子つうしん2025年春号にて
支援会員としてご協力いただいている
山口哲男様のお名前を哲夫と記載してしまいました。
訂正してお詫び申し上げます。



ピックアップ情報

～水道について楽しく学べるイベントです～
「水道フェア 2025」

普段なにげなく使っている水道について、模型を使ったお仕事体験や浄水場ラボの実験、災害に備えた水道局の取り組みなど楽しく学べ夏休みの自由研究にもピッタリ。水ヨーヨー一つり・間伐材を使った木工工作などの手作り体験コーナーのほかステージでは、特別ゲストによるトーク＆ライブ・水道のクイズ大会・みやぎ応援ポケモンのラプラスと写真を撮ろう！など盛りだくさんのイベントです。

- ◆日時：8月19日(火) 10:30～15:30
- ◆会場：せんだいメディアテーク
1階オープンスクエア
※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください
- ◆入場無料
- ◆整理券を配布します
 - ・『ラプラスと写真を撮ろう！』
開催時間①11:40～ ②14:00～
開催時間の30分前より各回40組配布
 - ・『ペーパーウェイトを作ろう』
 - ・『入浴剤をつくろう』
- ◆主催：仙台市水道局
- ◆お問い合わせ：仙台市水道局営業課
電話/022-304-0017 FAX/022-249-2123



子育て応援ダイヤル
★ママパパライン仙台★
☎022-773-9140
毎週金曜日10時～16時

ピックアップ情報

～あの『銭天堂』が仙台文学館に出現！？～
「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ」
 子どもから大人までを虜にする児童書「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」の世界を多彩な資料でご紹介する展覧会です。楽しいフォトスポット、廣島先生語り下ろしインタビュー、iyajya先生の原画展示、人気駄菓子の立体造形など見どころ満載！
 展示室の“ふしぎスタンプ”を集めて「銭天堂しており」がもらえる参加型イベントも毎日開催されます（申込不要・先着順のためなくなり次第終了です）

- ◆日時：7月19日(土)～9月7日(日)
9:00～17:00 (入館は16:30まで)
休館日は月曜日 (7/21・8/11を除く)
7/22(火)・7/24(木)・8/12(火)・8/28(木)
- ◆会場：(公財)仙台市民文化事業団 仙台文学館
- ◆観覧料：一般580円、高校生230円、
小・中学生110円
※「どこでもパスポート」をもってくると
小・中学生は無料になります
- ◆後援：仙台市教育委員会
- ◆お問い合わせ：仙台文学館/電話022-271-3020
<https://www.sendai-lit.jp/>
 ・駐車場40台（無料）台数に限りがありますので
公共交通機関をご利用下さい。

